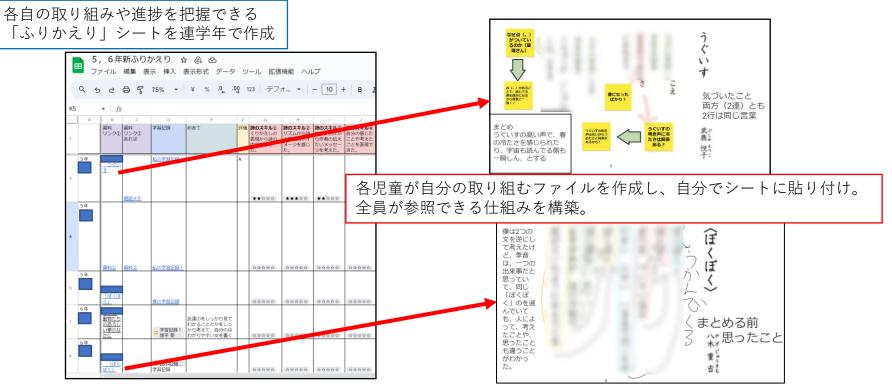
【取組内容①】「小規模校におけるクラウドを活用した異学年の学び」

- 異学年でクラウド上の学習データを参照しあいながら学び合える。
- 異学年での学びの環境を設定することで、上の学年はより経験をいかして下の学年に教えることができる。 下の学年も上級生とは異なる視点を持っていることもあり、異学年で対等に議論ができる。
 - ⇒学年を超えて刺激しあえる関係になり、自己肯定感の向上にもつながる。
- これまでは、異学年での学習において、課題を用意したり、それぞれの学習を参照するのに多大な手間が かかっていたが、クラウドで簡単に実現できるようになった



※複式の授業として各学年の目標を据えつつ、同じ教材もしくは系統的につながる 教材(教材は異なるが同じ「書くこと」について扱う教材など)を設定する。